



事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱まちだ			
保護者評価実施期間	令和7年	2月	27日	～ 令和7年 3月 14日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数)	18人
従業者評価実施期間	令和7年	2月	27日	～ 令和7年 3月 14日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	7人
事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日替わりでいろいろな活動をしているため、子どもが楽しく通える。	施設の広さに合わせた活動内容で、スペースの有効活用をできている。	模倣のトレーニングとしてからだを動かす活動を増やす。
2	サービス提供記録を通じて、その日の活動での子どもの様子を詳細に知ることができる。	同じ活動でもバラエティ豊かな内容で子どものレベルに応じて企画している。	プログラムの中にからを動かす活動を取り入れ心身の発達を促す。
3	施設が広いので子どもの活動スペースを十分にとれる。	季節感を感じる活動の企画を積極的に行っている。	

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会が少ない。	保護者会開催が年1回。	アンケート等で保護者ニーズの聴取、日程調査を行い、交流の機会増を検討する。
2	避難訓練、防災訓練の活動は行っているが、保護者への発信力が弱い。	月1のお知らせで発信しているが、結果的に保護者に伝わっていない。	発信方法…クラウド、LINE、紙など有効性のある方法を試行する。
3			